

2006年12月19日

## 日立のハードディスクドライブ事業の強化に向けた人事施策について

日立製作所(執行役社長:古川一夫/以下、日立)は、日立のハードディスクドライブ事業(以下、HDD事業)のさらなる強化に向け、日立グループでHDD事業を担当している日立グローバルストレージテクノロジーズ(取締役会長兼CEO:中西宏明/以下、日立GST)を対象とした人事異動を、2007年1月1日付で行います。

今回の人事異動では、日立GSTの取締役会長兼CEOの中西宏明が、2006年12月31日付で、兼務していた日立の執行役副社長/北米総代表を退任し、2007年1月1日から日立GSTの取締役会長兼CEO専任となります。今後は、取締役会長兼CEOとして日立GSTのマネジメントに集中し、日立GSTの事業強化を一層強力に推進していきます。

また、研究開発分野においても、従来から垂直磁気記録技術、HDDヘッド、エンタープライズHDD分野等で特別研究プロジェクト「TOKKEN」制度を活用するなど日立の研究開発リソースを活用してきていましたが、今後も日立GSTによる日立グループの研究分野の人材活用を一層推進していきます。

さらにTSCM(トータル・サプライチェーン・マネジメント)においては、コスト削減を加速し、HDD事業に最も適したモノづくり体制を構築するため、2007年1月1日付で日立の生産技術研究所長の伊藤文和が、日立GSTのDemand-Supply Project Officeに異動し、体制強化を図ります。

これらの人事施策の実施により、日立と日立GSTは、日立GSTのマネジメント力、モノづくり力の強化などを図るとともに、今まで以上に日立をはじめとする日立グループとの連携強化を図るなど、HDD事業の強化に努めます。

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---